

## 「仕入先からの環境情報と弊社の取り組みについて」

2023/3/6

購買課 土橋

購買課の土橋です。

今回は仕入先様との話の中で聞きました環境等についての情報と併せて弊社の取り組みを報告します。

ヨーロッパでは、日本では考えられないくらいの環境に対する意識が強く自動車のEV化、塗装レス仕様、再生材の使用等を様々な事を検討しているとの事です。例えば自動車に乗って一番目につくハンドル周りに環境対応した素材を使用していれば、従来部品よりも価格が高くても、コマーシャル費用の一部と考えると十分なメリットが出るとメーカーは考えているとの話をされていました。

また、塗装されたバンパーの再生も検討されているとの事です。

\*メーカー：T関係者と繋がりのある業者様談

弊社に関しては、成形課から発生する成形団子、ランナー、不適合製品は樹脂種類別に分けて有価物として引き取っており、また同様にめっき品も樹脂種類別に分けて有価物として引き取っており、一部は焼却ボイラー燃料として焼却後の灰、燃殻も金属有価物としての引取をしています。

また、金属センターでの液処理後に発生する泥も有価物として引き取り頂き、廃棄物として取り扱われる物を少なくしています。

\*ダンボールや、発泡トレイもそれぞれ業者に業者で再生されています。

\*因みに回収された製品は金属と樹脂は分けて、樹脂は樹脂として再生原料となるとの事です。

なお、メーカーを相手にされている業者が数社が来社されて話を聞く機会が有りますが、弊社のように廃棄物を有価物にする取り組みを行っている会社は中々聞かないとの事です。

物作りをする上では、不適合品や半端品の発生は0には出来ませんが、分別回収する事により、有価物にする事は極力出来るので、今後共、分別の御協力をお願いします。

